令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　687

事務事業名称		本会議等会議運営事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　議会局		課:　議事広報課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　1947(S22)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	地方自治法、枚方市議会会議規則、枚方市議会委員会条例　他						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	議会の会議が円滑に運営され、また、会議内容が市民にとってわかりやすく伝えられることで、市民に開かれた議会が実現された状態。						
	対象者(受益者)	議会の会議内容に関心のある市内に居住、就学、就労する市民、地域、事業者(広義の市民)						
	現状・課題	本会議、常任委員会、特別委員会、委員協議会その他の会議を円滑に運用し、市民に開かれた議会の実現が求められている。						
	事業の概要	諸会議が円滑に運営されるよう準備等を行う。また、市民に開かれた議会を目的として、インターネットによる本会議の生中継及び録画映像の配信を行っている。なお、本会議開催時において、依頼に応じて手話通訳者の派遣を行っている。						
	年間の主な事務	・5月開会議会、6月定例月議会、9月定例月議会、12月定例月議会、3月定例月議会、4月閉会議会及び緊急議会の開催 ・総務常任委員会、教育子育て常任委員会、市民福祉常任委員会、建設環境常任委員会の開催 ・議会運営委員会の開催 ・決算特別委員会、予算特別委員会の開催 ・総務委員協議会、教育子育て委員協議会、市民福祉委員協議会、建設環境委員協議会の開催						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	4.12人	4.25人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.15人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	31,675	34,888	—	—		
		会計年度任用職員	344	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		32,019	34,888	—	—		
	物件費計		1,114	1,111	—	—	1,128	98.5%
歳出計			33,133	35,999	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			1,114	1,111	—	—	1,128	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 本会議が円滑に運営されるよう準備、補佐等を行う。【開議日数】	日	29 日	28 日	― 日	― 日

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: ―

指標: ―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					―
実績					―
算出方法	―				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: ―

指標: ―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					―
実績					―
算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

―

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	令和6年度は、本会議が29日開催され、合計247人の傍聴者があった。また、本会議の開催に合わせ、インターネット(ユーチューブ)による生中継及び録画映像配信を行った。また、聴覚障害者をはじめ、多くの方が傍聴しやすい環境整備を図るため、9月定例月議会より議場傍聴席において会議の発言をリアルタイムで表示する字幕モニターを設置した。 なお、その他の会議等の開催実績は次のとおり。 ・常任委員会(総務、教育子育て、市民福祉、建設環境)5回 ・議会運営委員会　21回 ・特別委員会(決算、予算)12回 ・委員協議会(総務、教育子育て、市民福祉、建設環境)21回 ・その他の諸会議(全員協議会、各派代表者会議、議会報編集委員会)26回 ・常任委員会行政視察5回(9都市)
R7年度	令和7年度は、本会議が28日開催され、合計198人の傍聴者があった。また、本会議、全員協議会に加えて、令和8年予算特別委員会よりインターネット(ユーチューブ)による生中継及び映像配信を行った。 なお、その他の会議等の開催実績は次のとおり。 ・常任委員会(総務、教育子育て、市民福祉、建設環境)6回 ・議会運営委員会　21回 ・特別委員会(決算、予算)12回 ・委員協議会(総務、教育子育て、市民福祉、建設環境)19回 ・その他の諸会議(全員協議会、各派代表者会議、議会報編集委員会)27回 ・常任委員会行政視察4回(8都市)
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	諸会議が円滑に運営されるよう、準備等の漏れがないようにマニュアルの刷新に努めるとともに、今後も、開かれた議会の実現を念頭に、時代に即した取組を進める。	R8年度方向性	**現状維持**

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
		現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　688

事務事業名称		市議会会議録等作成事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　議会局		課:　議事広報課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1947(S22)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	地方自治法、枚方市議会会議規則、枚方市議会委員会条例　他						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	議会の会議後できるだけ速やかに会議録等が作成され、紙媒体やインターネット上で市民が議会の会議内容を確認できている状態。						
	対象者(受益者)	議会の会議内容に関心のある市内に居住、就学、就労する市民、地域、事業者(広義の市民)						
	現状・課題	会議録、委員会記録等が整備され、市民が議会の会議内容等を確認できる状態が求められている。						
	事業の概要	反訳業者の作成した原稿を各種資料と照合するなどして校正し、紙媒体による会議録等を作成する。また、作成した会議録等を市立図書館等に配架するとともに、インターネット上で利用できる会議録検索システムに会議録等のデータを掲載する。						
	年間の主な事務	・本会議会議録の作成 ・常任委員会、特別委員会等の記録の作成						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.39人	2.35人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.36人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	18,374	19,291	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	825	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	19,199	19,291	—	—		
歳出 物件費計	3,358	3,285	—	—	3,637	90.3%
歳出計	22,557	22,576	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	3,358	3,285	—	—	3,637	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 紙媒体による会議録等を作成する。【作成部数】	部	68 部	68 部	— 部	— 部

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	—
指標	—

指標	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	—
指標	—

指標	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	令和6年度において作成した本会議の会議録等は、緊急議会、全員協議会が複数開催されたことから68日分となった。会議録等は、会議等終了後速やかに整文等を行い、発行の上、市立図書館等への配架とインターネット上への会議録検索システムへデータ掲載をスケジュール内で行った。また、令和6年度における会議録検索システムのアクセス件数は11,849件である。
R7年度	令和7年度において作成した本会議の会議録等は、緊急議会、全員協議会が複数開催されたことから68日分となった。会議録等は、会議等終了後速やかに整文等を行い、発行の上、市立図書館等への配架とインターネット上への会議録検索システムへデータ掲載をスケジュール内で行った。また、令和7年度における会議録検索システムのアクセス件数は10,364件である。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	議会日程等が重なり記録業務が滞ることがあるが、記録作成スケジュールを綿密に作成するなど効率的な事務執行により、本会議の会議録は3カ月以内、特別委員会の記録は6カ月以内に作成し会議録検索システムに掲載する。あわせて、その他常任委員会や議会運営委員会等の記録についても同様に、そのデータを速やかに作成を行うなど、公開情報の充実を図る。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　689

事務事業名称		議会広報事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　議会局		課:　議事広報課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます				性質	広報・広聴・協働	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1956(S31)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市議会議会報発行規程、枚方市議会議会報発行要綱						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	本会議等の内容が適切に報道され、市民が議会や市政について関心を持ち、理解することができている状態。						
	対象者(受益者)	市内全世帯(全事業所、市内各施設含む):190,000世帯、市民及び議会に関心のある方						
	現状・課題	本会議等の内容が適切に報道され、市民が議会や市政について関心を持ち、理解することができる状態が求められている。						
	事業の概要	枚方市議会報は原則として年6回(3月、6月、9月、12月の各定例月議会後、5月の開会議会後及び正月)発行しており、配布先は本市の全世帯(全事業所、市内各施設を含む)である。また、文字を読むことが困難な視覚障害者や高齢者向けに「点字議会報」と「声の議会報」を発行しており、「声の議会報」については市議会ホームページでも音声データを公開している。プレゼント付きクイズコーナー「ぎかい探Q」を連載し、応募時に市民からの感想や意見を募っている。 プロモーション動画は、年間約10本作成しており、ユーチューブやインスタグラムで配信している。 市議会インスタグラムは、週1回以上の投稿とし、会議情報や議会、議員にまつわる限定企画などを投稿している。						
	年間の主な事務	・枚方市議会報…紙面レイアウト、記事作成、写真撮影、校正、ぎかい探Qの集計及び意見集約 ・プロモーション動画…企画、撮影、編集、配信 ・市議会インスタグラム…企画、投稿内容の作成、投稿						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	3.45人	4.50人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.08人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	26,524	36,941	—	—		
		会計年度任用職員	183	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		26,707	36,941	—	—		
	物件費計		14,140	14,337	—	—	15,336	93.5%
歳出計			40,847	51,278	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			14,140	14,337	—	—	15,336	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 議会報の年間編集ページ数	ページ	26 ページ	26 ページ	— ページ	— ページ
② ぎかい探Q掲載数	回	6 回	6 回	— 回	— 回
③ プロモーション動画配信数	本	15 本	18 本	— 本	— 本
④ インスタグラム投稿数	件	62 件	198 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	令和6年度の議会報は、開会議会や各定例月議会等に合わせて、5月1日号(190,600部)、7月1日号(190,800部)、8月1日号(191,000部)、11月1日号(191,000部)、新春号(191,000部)、2月1日号(191,000部)を発行。議会報の発行に合わせて、点字議会報を54部(年間計)、声の議会報を196部(年間計)発行した。プレゼント付きクイズコーナーぎかい探Qの連載や子どもにも分かりやすいコーナー等、紙面を読んでもらうきっかけづくりに積極的に取り組んだ。また、ぎかい探Qの応募者に紙面等の感想を募り、市民の声を反映した。 プロモーション動画では、一般質問をした全議員が質問のポイントを10秒で紹介する動画で、定期的に動画を配信する機会を設け、また、市議会を紹介する子ども向け動画も作成した。子ども向け動画は、小・中学校のデジタル教材としての活用を図り、ユーチューブでは約1,000回再生されている。 12月に開設した市議会公式インスタグラムでは、より開かれた議会を目指すため、タイムリーな情報発信を行った。アカウントには、30代以下の若年層からのアクセスもあり、フォロワーは増加し続けている。今後も、議会に興味を持ってもらえるよう、多くの若年層にも届くような投稿を発信していく。
R7年度	令和7年度の議会報は、開会議会や各定例月議会等に合わせ、5月1日号(191,000部)、7月1日号(191,200部)、8月1日号(195,180部)、11月1日号(191,230部)、新春号(191,330部)、2月1日号(191,330部)を発行。議会報の発行に合わせて、点字議会報を54部(年間計)、声の議会報を202部(年間計)発行した。プレゼント付きクイズコーナーぎかい探Qの掲載や子どもにも分かりやすいコーナー等、紙面を読んでもらうきっかけづくりに積極的に取り組んだ。また、ぎかい探Qの応募者に紙面等の感想を募り、市民の声を反映した。 プロモーション動画は、一般質問をした全議員が質問のポイントを10秒で紹介する動画などを市議会公式インスタグラムや枚方市議会公式ユーチューブチャンネルで定期的に配信した。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度 取組方針	議会報については、引き続き、市民からの感想や意見を基に紙面改革に取り組む。 プロモーション動画については、一般質問動画をはじめ、定期的に作成している動画に引き続き取り組むとともに、新たなショート動画を多数作成し、より積極的な発信をしていく。 市議会公式インスタグラムについては、引き続き、フォロワー増加を目指すとともにタイムリーな情報発信に努め、工夫した内容の投稿を行う。 市議会キャラクターいろりあを活用しながら、今後も開かれた議会を目指すとともに、特に若年層により関心を持ってもらえるよう、魅力的な発信を展開していく。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
	拡充	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　705

事務事業名称		議員研修・調査事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　議会局		課:　議事広報課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1947(S22)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市議会会議規則、枚方市議会図書室規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	議員が先進事例等の調査や研究を活発に行うことができ、その成果として市への政策提言等が恒常的に行われている状態。						
	対象者(受益者)	市議会議員/市職員及び市民						
	現状・課題	市議会議員が先進事例等の調査や研究を活発に行える環境の維持が求められている。						
	事業の概要	議員向け研修会の実施や案内等及び常任委員会による先進都市研修(視察)の調整を行っている。 また、法に基づき設置している議会図書室において、議員の調査、研修に必要な図書等を提供している。なお、議会図書室は、市民、職員など、だれでも利用することができる。						
	年間の主な事務	・図書の選定、購入、配架 ・議員研修の調整、研修案内チラシの配付 ・常任委員会による先進都市視察の調整						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.44人	0.59人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.09人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	3,383	4,843	—	—		
		会計年度任用職員	206	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		3,589	4,843	—	—		
	物件費計		1,713	1,804	—	—	2,241	80.5%
歳出計			5,302	6,647	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			1,713	1,804	—	—	2,241	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 議会図書室の蔵書数(新聞、定期購読冊子除く)	冊	2,703 冊	2,773 冊	— 冊	— 冊
② 議員の先進都市研修(常任委員会での視察)に関する事前の調整依頼件数	件	9 件	8 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①						
説明	—					
指標	—					
	R6	R7	R8	R9	単位	
目標					—	
実績					—	
算出方法	—					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①						
説明	—					
指標	—					
	R6	R7	R8	R9	単位	
目標					—	
実績					—	
算出方法	—					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	議員による先進都市研修(視察)では、全常任委員会で9か所の視察を行い、各市の先進事例等の調査を行った。 また、令和6年度中に議会図書室へ新たに配架した図書(定期刊行物除く)は70冊であり、年度末の蔵書数は2,703冊となった。
R7年度	議員による先進都市研修(視察)では、全常任委員会で8か所の視察を行い、各市の先進事例等の調査を行った。 また、令和7年度中に議会図書室へ新たに配架した図書(定期刊行物除く)は70冊であり、年度末の蔵書数は2,773冊となった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	今後も議会図書室の資料の充実を図るとともに、書籍等の資料については、議会図書室の配架場所に限りがあることから、随時、棚卸作業を行うなど議員、市民が利用しやすいよう整理に努める。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　953

事務事業名称		議事広報課運営事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　議会局		課:　議事広報課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定(継続実施含む)			
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	課員が、それぞれ担当する事務を適正に把握し、正確かつ迅速に執行している状態。						
	対象者(受益者)	議事調査課職員及び全ての議員						
	現状・課題	課の運営を円滑に図る必要がある。						
	事業の概要	課の運営業務						
	年間の主な事務	・照会、回答事務 ・財務管理事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.61人	0.65人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	4,690	5,336	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		4,690	5,336	—	—		
	物件費計		50	103	—	—	228	45.2%
歳出計			4,740	5,439	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			50	103	—	—	228	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ―					

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

―

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	枚方市議会の機能を十分に発揮するため、定期的なOJTで職員の議会事務能力の向上を図るとともに、研修等で知識・技術の習得に努めるなど、自治体職員としての研鑽に取り組んだ。
R7年度	枚方市議会の機能を十分に発揮するため、定期的なOJTで職員の議会事務能力の向上を図るとともに、研修等で知識・技術の習得に努めるなど、自治体職員としての研鑽に取り組んだ。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	各業務を適正かつ円滑に遂行できるよう取り組みを進める。また、情報収集や連絡調整等を積極的に行うとともに、外部研修を含む各種職員研修を通じて得た知識や技術を課内で共有し、自治体職員としての研鑽に励む。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―